



うさぎ小屋通信

陽春号

編集発行：由卯

<http://www1.to/yosinasi>

三月もすぎ...

編集人 由卯

気 が付けば桜の*も一分、二分と、見るたびに枯れ木が花をたわなに付けていく。

年末からかれこれずっと仕事に追われ、お菓子作りも日々の日記もとんとご無沙汰気味だ。ただ時間だけは新しい季節を迎え、空気も春色になりつつある。

先日、久しぶりに息子の住む東京へ行った。人の多さに圧倒されながら、早足で歩いて向ってくる人を避けつつ、おたおたと歩く。以前この雑踏の中で暮らしていたことを思うと、今の生活が何と平和なことか...

普段はほとんど車中心の生活をしているが、交通網が発達し



子の住む東京へ行った



▲三菱一号館美術館

初誓願式▼

ている大都會では、最寄りの駅やバス停以外はほとんど徒歩での移動だ。一日千歩も歩かない私も一万歩、多い時には二万歩近く歩いたが、歩きやすい皮靴のお陰で、ほとんど筋肉痛もなく健やかな日々を送れた。毎日これだけ歩けば健康維持は可能であろう。本当に都会の人ほど歩くのが早く、健脚である。しかし、メタボな人も多いと聞かす、仕事によるストレスが一番の要因なのだろう。私的には人の多さがストレスになりそうだった。今の私には田舎暮らしが性に合っている。

二泊三日の東京行きの最大の目的は、息子の「初誓願式」(カトリックの儀式の一つ)に参加することであったが、せっかくなので来たのだからと、私と娘は東京見物に繰り出した。案内してくれた妹(三女)は二日間も拘束され難儀だったかもしれない。が、お陰様で素敵な時間を過ごすことができた。

しかし一番のネックは、ツアーで取ったホテルの部屋が非常に狭く、そして乾燥していたせいもあって、花粉症が悪化し大変だったことだ。しっかりとリサーチして次回にいかしたい。

ともあれ、最終日の疲れ?(後述)を除いては、楽しい東京見物だったことは間違いない。今度は、もっと下調べをして、確実な計画を立てる事を課題に、日々の忙しさにまかす、充実した日々を過ごしていこうと再度心に誓うのであった。



自然の力

年 未年始の大雪、二月には新燃岳の爆発による

灰被害、三月は東北・関東地方を襲った大震災による津波と、今年になって自然災害による被害が頻発している。

特に、東日本大震災の被害は甚大ではなく、死亡者・行方不明者は二万人以上に上り、津波で破壊された町の復興すら目途がつかない状態だ。おまけに、避難物資を運ぶための輸送ルートもがれきり等で確保できない状態、被災者の方々の心労は計り知れない。

降灰で空は黄色く、硫黄の匂いがたちこめていた▼



▲未だに続く新燃岳の爆発

その中でも、地震による原子力発電所の被害の状況は日が経つにつれ深刻化を増している。何せウランを原料とする原子炉が制御不能になるといふことの怖さを今ひしひしと感じてい

る。特に半径30 km圏内にいる住民の方は、生まれ育った町から離れないといけないという苦渋の選択を余儀なくされている。



以前、口蹄疫や鳥インフルエンザで受けた風評被害もさることながら、情報だけが一人歩きし、誤った情報が蔓延し、人々を混乱へと招く。ヒステリーパニックを起こしかねない危うい状態ではないかと心配している。東京も地震が起こった直後、色々な物が無くなり、我が家も妹三人と息子の所へ色々な物を送った。オイルショックさながらのパニック状態がいつまで続くのかいささか心配である。

上京した際も色々な所で節電を行い、生活が少々不便にはなったかもしれないが、田舎暮らしをしている私にとっては、まだまだ改善すべき点は多々あるのではないかと思つた次第だ。



My favorite お気に入り 見つけた!

File 17.

◆三菱一号館美術館内

【Café 1894】



以前、雑誌MOEの特集の中央線界隈のお店紹介

で、一番最初のページで紹介されて以来、ずっと行きたかった場所だ。今回時間がなかった割には、食事だけはゆっくりとしてしまった。しっかりとガイドブックを調べていけば、隣接している「パークビル」や「ブリックスクエア」にも足を伸ばせばたのびと、少々後悔している。案内してくれた妹も初めて中に入るようで、東京駅周辺も素敵空間が広がりつつあると、次回の上京が楽しみでもある。



▲クイーン・アン様式の店内



館内は東日本大震災の影響で臨時休業中だったが、25日から営業開始したらしく、知らなかったとはいえ幸運だった。



▲週替わりのランチプレート(¥1,500) 江戸東京野菜をふんだんに使用したヘルシーメニュー



苺のソルベ

一八九四年にオフィスビルとして建設され、昭和四三年には一度解体されたが、二〇一〇年の四月に復元。エレベーターや中庭に面した所々が金属を使用していたのもこれで納得した。Caféのエントランスは当時の銀行営業室をそのまま利用している。フェルト製の乳白色の椅子も可愛らしく、内装がゴシック建築の教会のようだった。ゆっくりと館内を散策した後ストアーに寄ってみるといい。

◆Café 1894

千代田区丸の内2-6-2

☎03-3212-7156

open = 11時 <http://mint.jp>

File 18.

◆YOKU MOKU【お菓子】

父が子供の頃に お土産として買って来てから、



ヨックモックのお菓子のファンである。表参道ヒルズから東に明治通りを過ぎた静かな場所にCafé shopがあった。

妹が「どれだけ好きなの？」と言う程、定番以外のものを買込んでいた(翌日、ランドグドシャーは友人にお土産として頂いた。またまたファンになった私だった(余談)アンリー・ルルーのお菓子は食べてみたかったなあ)。



旧同潤会青山アパート今は gallery になっている

▲ピカソの絵画

◆YOKU MOKU(blue brick lounge)

港区青山5-3-3

☎03-5485-3330

open = 11時 <http://www.yokumoku.co.jp>

持つべきものは...

先 日東京へ七年ぶりに行った。買い物途中に突然、携帯電話が鳴った。短大時代の友人からだ。これ四半世紀にもなるだろうか、懐かしい声が響いた。友人は、翌日、宮崎へ帰郷することを母に聞き、慌てて電話してきたようだ。宿泊しているホテルから羽田空港に向かうリムジンバスの中から飛行機が発するまでの正味四時間ほど、私達は話し続けた。不思議と話は尽きないもので、バスの中や食事中、はたまた喫茶中と場所を変えながら、延々と話し込んだ。

九月に仕事で再び上京する事を伝えると、「今度は同窓会をしましょう」と彼女は意気揚々と帰っていった。お互いに色々な事があったにせよ、瞬時に若かりし頃の自分達に戻る。九月の上京の楽しみが一つ増えた。



おしまいで

急に暖かくなってきたかなと思おうと寒波で寒くなったりとこの時期の気候は不安定だ。久しぶりの上京も風が冷たくて寒かったが、こちらに帰ってくる日中の気温の上昇(昨日は摂氏二十一℃)で、今現在(4/1)桜は満開に近いくらい開花している。

先月は三度目となるガソリンの高騰があり、必要とする人達にとつては大変な痛手ではないだろうか。報道されなければ被災したことすら知られず頑張っている人達やボランティアをする人々、大勢の人々が復興のために頑張つて少しずつ状況は良くなっているにしても、元の生活に戻るには相当の時間を要する。

駅やまちなかでは義援金の募金活動をする人達を多数見かけるが、そのお金がどのように人々の生活に反映されているかはまだ知る由もない。



由卯